

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.89 とよなか国際交流センター広報誌 2016年8月



「楽しい夏を」

平井 葉月(大阪府立桜塚高校1年生)

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00)

8/18(木) 10:00~12:00

おまつり地球一周クラブ

夏休み特別企画

~おめんをつくろう!

内容:世界のおめんについて学びながら、オリジナルおめんを作る。

参加費:300円

定員:小・中学生20人(保護者同伴可)

8月15日までに要申込み、先着順



8/14、21、28(日)

10:00~12:00 / 13:00~15:00

外国にルーツを持つ子どものための学習支援

内容:夏休みの宿題をサポート

対象:外国にルーツを持つ小学生以上の人

要申込み



にほんごこうりゅうかどう 日本語交流活動2016年8月のよてい

日(Sun) (にちよう がちゅうりゃん)	月(Mon) (げつともつ つかえるにほんご)	火 水	木(Thurs) (もくびる)	金(Fri) (きんあさ)	土
	1	2	4	5	6
7 やみ	8 やみ	9 せんたー	11 やみ	12 やみ	13
14 やみ	15 やみ	16 おやすみ	18 やみ	19	20
21	22	23	25	26	27
28	29	30			

(※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです)

☆おしらせ : 8月12日(金)11:00~16:00
多言語相談サービスはあやすみです。

9/10(土)

10:00~16:00

今年もやります!
とよなか国際交流フェスタ

9月10日(土)にとよなか国際交流センターにて国際交流フェスタを開催いたします!

今年は1日限りの開催となりますが、世界のさまざまな国に触れられるプログラムが盛りだくさん!

センターで活動している登録団体のステージ発表や、世界の食べ物・飲み物を味わえるお店が6階フロアに並びます。お菓子やアクセサリー・バザーの販売もあるので、子どももおとなも楽しめること間違いなし!

体験型プログラムでは、民族衣装体験や外国の文字を学ぶことができるブースで自分だけのオリジナルグッズを作ることもできます。

また、5Fすてっぷの「ライブラリーまつり」、豊中駅前広場の「ジャンプフェスタ」も同日開催されます。9月10日(土)は豊中駅周辺で遊び尽くしましょう!



とよなか国際交流フェスタ 2016
とき: 9月10日(土) 10時~16時
ところ: とよなか国際交流センター
主催: とよなか国際交流フェスタ実行委員会

ご報告

フィリピンの学校を知ろう!

~現地の先生が語るフィリピン教育事情のいま

7月16日(土) 15時~17時「フィリピンの学校を知ろう~現地の先生が語るフィリピン学校事情のいま~」が開催されました。現場の先生、教育委員会、PTAから計4人の女性が講師としてフィリピンの教育の現状と課題を伝えてくれました。セミナーの最後には、講師の4人からダンスの披露もあり、大いに盛り上がった2時間でした。以下、全体のコーディネーターを務めた多言語相談スタッフ(フィリピン語担当)・マリアさんからのレポートです。

「23年以上日本に住んで初めて、フィリピンの教育の現状を聴くというチャンスに恵まれました。子どもたちの教育についての社会課題と、最新の教育情報について新しい事実を知れたことに感謝しています。フィリピンと日本、二つのルーツを持つ子どもやフィリピンから渡日した子どもたちについてどのような対応が望ましいのか、日本社会にもっと考える機会を投げかけていく必要がある、と気づく機会になりました。

若者や両方のルーツをもつ子ども・若者自身がセミナーに参加したことも嬉しかったです。この歴史的なセミナーに、日本の教育関係者にもっと参加してもらえたらと思いました。この機会が、日本とフィリピンの多文化共生社会に向けた豊かな関係づくりの始まりとなるように、今後も活動を続けていきたいです。」



講演のようす



海外より

日本人、聞こえますか~?

(第4回)

中原田ブルーナ

外国人のための多言語相談サービス(ポルトガル語)多言語スタッフと、子ども事業コーディネーターをしていた中原田ブルーナさんが、2015年4月より故郷、ブラジルに滞在しています。ブルーナさんからのブラジル生活便りをどうぞ。

みなさん、お久しぶりです。ブラジルへ帰ってきて1年が経ちました。1年だけ滞在の予定だったのでコラムは3回だけ書くことになっていましたが、もう1年いることにしたのであと3回書きたいと思います。何を書けばいいかわからないのですが、よろしくお願ひします。

私はブラジルへ帰ってきてすぐ、土砂災害に関するプロジェクトで働き始めました。この仕事も、始めて1年になりました。最初は本当に何もわからなかったのですがとても大変でしたが、この機会を逃したくなかったのであきらめませんでした。能力不足で迷惑をかけていると思ひながらなんとか2年目に入りました。

日本では一人暮らしをしていましたし、大学を卒業して1年間私なりの社会人生活をしましたが、15歳のときから日本で暮らしていたので、初めてブラジルで一人で生活することになりました。一人で生活ができていくからすごく満足し、何かを達成した気持ちです。

しかし、私は大変な時期にブラジルに帰って

きてしまいました。不景気、経済スキャンダルなど、ブラジルはオリンピックを開催している場合ではないと思います。8月5日にオリンピックが始まりますが、無事に終わることができるのかとても不安です。リオは行きませんが、ブラジルでもサッカーの試合が行われるみたいなのでチケットを購入しました。サッカーが好きな私はブラジル代表などが観れて嬉しいのですが、そこまで楽しみではないというのが正直な気持ちです。次のオリンピックは東京です。上手く引き継ぎができますように願ひしています。

そして!ブラジルで一番楽しんでいることは旅行です。この1年間本当にいろんなところに行きました。そのため今は赤字ですが、来年南米一周のため貯金を始めました。この機会を逃したらだめだと思って、ずっと行きたいと思っていたところに行くことにしています。8月はリオ出張のあと、1週間休暇をとってLençóis Maranhenses(レンソイスマラニエンセス)という

ところへ行ってきました。ブラジルの北東部への航空券は高いので半年くらい前に購入しておきました。ブラジリアから行くと飛行機で3時間+バス4時間です。ブラジルの多様性や広さを肌で感じています。

下の写真はブラジリアの中心です。ブラジリアはブラジルの真ん中にあるのでブラジルの中心とも言えると思います。テレビ塔から撮った写真で、奥の真ん中の建物が国会議事堂です。計画された都市なのでとても面白いところです。(ブラジリアは上から見れば飛行機の形をしています。興味ある方は地図で探してみてください! 拡大しないとわかりませんが、飛行機を探してください。)



ヘイトスピーチ規制法を考える

7月23日（土）に、講師にコリアNGOセンター代表理事の郭辰雄（カク・チヌン）さんを招いて、市民向け特別公開講座「ヘイトスピーチ解消法を考える」を開催しました。

まず、郭さんは在日3世であることを隠していた自らの生い立ちを語られた後に、「ヘイトスピーチ」や「在日特権」と、その言動が規制されるべき理由について解説されました。また、この解消法が成立する前と後に行われた2つのヘイトデモの動画を観ることで、デモのあり方や行政・警察等の対応に大きな違いがあり、「ヘイトスピーチはダメだ!」という社会的規範と地域市民の声によって、このような暴挙を阻止できると確信しました。講演後に参加者は班に分かれて、①何が、ヘイトスピーチを産み出すのか、②私たちにできることや誰かに期待したいことについて討議し、このような話し合いを繰り返すことの重要性を強く感じました。最後に、郭さんは、著名人や公人により繰り返される差別事象を取り上げ、差別のハードルが下がり、差別を罰する規範のない現状を危惧され、排外主義的な社会を克服するために、豊かな他者と出会い・語り・学ぶことの大切さを示唆されました。



当日のようす

外国人親子に向けた
高校進学説明会

「しょうないREK」*主催の7月10日（土）13時～15時半、庄内公民館にて開催されました。中学生の子どもがいる6家族11人の参加があり、しょうないREK、教育委員会、とよなか国流からもスタッフが参加しました。元中学校校長の講師から、高校進学に向けた志望校の選び方や、受験に向けた心構え、入試制度についての概要などの説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

協会では今後も、庄内を含む南部地域での外国人に向けた活動を、地域の方々や行政と連携して進めていく予定です。

*しょうないREKは、庄内地域を中心に、リサイクル本活動による図書館の活性化と地域における共生を推進する事業をおこなっています。主な構成団体は、地球ママくらぶ・六中校区地域教育協議会・豊中市・豊中市教育委員会・アジェンダ21・とよなか国際交流協会・医療法人豊済会サポートセンター～ぶなどです。



なんぢや・カンチャ・言わせてもらえば（第89回）

「絵本は世界を知るための窓」

皇甫康子（ふぁんぼ・かんぢや）

6月18日、大阪府外国人教育研究協議会による第24回府外教研究集会、堺・泉北大会が堺市立堺高等学校で開催されました。

今年の全体会のオープニングは民族学級が設置され、民族講師が配置されている堺市内の二つの小学校と民族子ども会「堺ムジゲの会」、堺市立殿馬場中学校夜間学級のチャンゴサークルによる合同サムルノリと、「アリラン」の大合唱という素晴らしい共演になりました。

特別企画は翻訳家で「アフリカの本プロジェクト」代表のさくま ゆみこさんの講演でした。さくまさんはアフリカ系アメリカ人を主人公にした絵本を数多く翻訳されています。1955年12月1日のバスの車内で、白人男性に席を譲ることを拒んだローザ・パークスの抵抗運動を描いた絵本、『ローザ』は私も読んでいました。公民権運動のきっかけとなった彼女の闘いに、どれだけ感銘を受けたか分かりません。「アフリカの子どもの本プロジェクト」では、ケニアの貧しい地域につくった子ども図書館の支援をし、ケニア以外のアフリカの子どもたちについても本を送る活動をされています。また、日本の子どもたちがアフリカの文化やアフリカの子どもたちについて知ることができるように、アフリカ関係の児童書のおすすめリストを作り、貸し出しもされているそうです。

長年の地道な活動から最初に紹介されたのは『エンザロ村のかまど』という本で

した。水質が悪くて子どもの死亡率が高かったケニアの山間の村で、水を殺菌するためにかまどを作ったそうです。料理のかまどの横に水の鍋を置いて殺菌すると、子どもの死亡率が激減しました。山間の村に図書館をつくるには配送できる道がないので、ラクダや馬などに本をのせて移動します。「本がまったく読めなかった村の子どもたちが、絵本を通じて、世界を知ることができます。幼い頃から、お説教くさくない交われる本が必要です。窓を開けるとここにはない世界があります。ちがう世界が見えると救われる子どもがいます。その窓を開けるのが大人の責任です」とさくまさんは話されます。幼い頃からいろいろな差別を体験してきた黒人作家、ジュリアス・レスター（『あなたがもし奴隷だったら』の著者）は、今、目の前の世界とは別の世界があることを本によって知り、生きることができたと言っています。

日本では、毎年、書籍全体の新刊の出版点数が年7万5000冊前後だそうです。その内、新刊の児童書は5000冊で、翻訳物は30%ぐらい。現在は16%に減少し、出版社が内向きになっているようです。アメリカも外国のものが少なく、ナチスの時代にドイツから移民した作家のマーガレット・レイ（『おさるのジョージ』の著者）や、ポーランドから移民したユダヤ人作家、モーリス・センダック（『かいじゅうのいるところ』の著者）など、アメリカは移民

の人たちが文化を創った国なので、たくさんさんの翻訳本があったのに、今はたった2%だけになってしまったということです。

親が宣教師で、中国に生まれ外国を巡り多様な価値観に触れて育った作家、キャサリン・パターソンは「アメリカの図書館には自国の本がたくさん並んでいるので、外国の本が忘れられている。イランやイラク、セルビア、韓国と北朝鮮など世界で暮らす友だちを子どもや大人に与えなくてはいけない。友だちが住む国に害を与えることはしないから」と発言しているそうです。さくまさんは軍需産業が背景にあるアメリカで、この発言はすごいと評価されていました。

児童書をたくさん紹介しながら、民族主義が台頭する時は生活が苦しい人が多くなるときで、社会への不平不満を煽る人によって、火が燃え上がる。民族主義、ヘイトスピーチ、戦争はいつもセットだと締めくくられました。

不安な事件が続いている最近ですが、自爆テロ事件の背景もしっかりと見て考え、誰にとっても人間として最低限の生活が守られる社会にしたいです。本を通じて、多様な文化や考え方、歴史、置かれている状況を知り、出会ったときに友だちの目線で話ができれば良いですね。さくまさんお薦めの本を読み、世界を知るための窓を開き続けたいと思います。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業(以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプライス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるづくりをしています。他…

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとなつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママづくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプ/マイク/必要な機材の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降式調理台2台、準備室(ロッカー)、洗面台、ホワイトボード)
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用する時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する時の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

国際交流の活動を応援します!

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)

- ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
- ・センター内の掲示板で情報提供できます
- ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など

その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html

もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook! ほぼ毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始

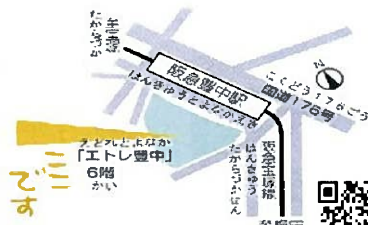
アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)

地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター

E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info



●アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分

